

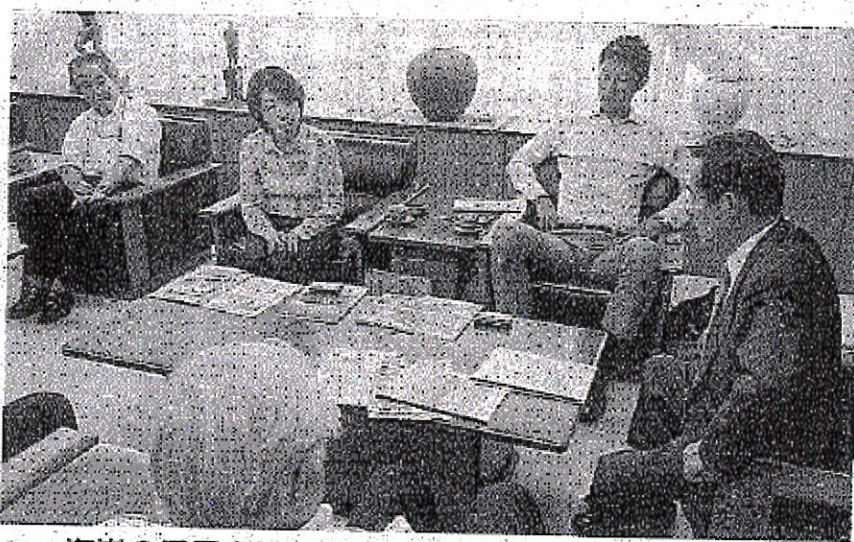
鹿城 海岸の活用策探る

鹿嶋市はこのほど、市行っているNPO法人か。知恵を借りたい」と内の海岸の活用策を考え（特定非営利活動法人）。助言を仰ぐと、朝日理事よつと、日本ビーチ文化 この日の視察と意見交換 長は、砂の質から言えば、振興協会（東京）の朝日 には、朝日理事長と吉沢 海水浴場に向いているの健太郎理事長らを招い 裕子副理事長が参加し は「下津」と述べ、「平井て、下津・平井阿海岸を た。

視察してもらった上で、 意見交換ではまず、市 幅広い利用がでせう。錦織孝一市長ら市の幹部 と協会がそれぞれ海岸の ビーチマラソンはどうとの意見交換を催した。 活用をめぐる施策や取り か」と提言した。吉沢副朝日理事長は、平井海岸 組みを動画などを使って 理事長は、子供たちを対について「ビーチマラソ 説明。その後、約1時間 象にした海岸の利用につンはどうか」などと提案 ほどフリートークを行っ いて、台場の海岸で、港した。

同協会は、豊かな海辺 錦織市長が「市の財産 学校対抗の「はだしの連の環境と、海辺と人のつ である海岸を、どんな形 動会」を開いている例をながりを取り戻す事業を で利用していけばいいの 紹介した。

鹿嶋 NPOがマラソン提案



海岸の活用方策について日本ビーチ文化振興協会の朝日健太郎理事長（右から2人目）らから助言を受ける鹿嶋市の錦織孝一市長（右端）＝同市役所

ールをはじめ、相撲にテニス、ハンドボールなどさまざまなる種目やイベントが繰り広げられた。錦織市長は、その様子を収めた動画を見て「ビーチを利用できるスポーツなどがこんなにいるいるあるとは驚きだ」と話した。同市を初めて訪れたという朝日理事長は「都内から1時間半。高速バスが（東京駅から）10分おきに出ているとは知らなかった。この近さがウェブ上に反映されていないのではなか」と、都内から鹿嶋へのアクセスが想像以上に良いと指摘した。

同協会が今年5月に台 ーツフェスティバル」で 場で開いた「ビーチスポ は、サッカー、バレーボ

（佐川友二）